ふれあい

第61号

グループホーム草加 草加市長栄町560 平成26年5月吉日



応急手当





ストッキング

三角巾

三角巾はもちろん、ストッキングや衣類など 身近な物を利用しての 応急手当の講習会を行 いました。



衣類

母の日・父の日会











菊千会による日本舞踊を楽しみました。ご家族との昼食は本当にうれしそうでした。 母の日の起源はさまざまですが母に贈る赤いカーネーションの花言葉は『母の愛情』で、母の想いを忘れないように とのことです。



心開く 事実を伝え きなくなり、

りました。 ッフは「迎えに来る まで待ちましょう」 みますね」など、 入りました。 「ご家族に連絡して 入居後「家に帰り 」と訴えが始ま 介護スタ

> 笑顔が見られるよう から険しさが消え、

はありますが、

帰りたい」の訴え

は劇的に

変わ

IJ

になりました。

その

本人の想いに向

本当のこと

くなり、 などと言うようにな したり「死んでやる」 していました。 の場しのぎの対応を なり、おお泣きを徐々に訴えはひど 物忘れは そ 場しのぎの対応をせ を伝えることで心を

す。 るようになったので て頂けるよう工夫し 甲斐を持って暮らし 開いた関わりができ ケアの第一 「これが本 スタッフは言 本位 です 生き 0

か

りした方でした。 ひどいもののしっ

帰りたい」の訴え

家に子供が生まれた 前の事も忘れます。 ら物忘れが目立つよ に尽くしてきた方で 女性を介護で 今まで家事 6年前か 最近は直 家族 いので、 事にしました。 本当の事情を伝える スタッフは今後の ませんでした。 で薬で治療するべ その後、 女性の

同居していた孫娘

さんは子育てが忙し応を話し合い「お孫 神科を受診しました。精 こに居てほしい」と でないと薬はもらえ が精神病ではない しばらくこ き 0 対

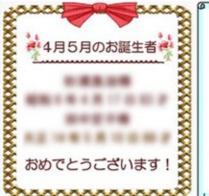
した。 5、

一切を引受け、

ある介護施設 ている九十

うになり、

新入居者様 よろしくお願いします



編 集 後 記

新緑が清々しい季節と なりました。梅雨入り前の の時期、利用者様と散歩 に出掛けたり日光浴・外気 浴をして外気に触れる機 会を心掛けています。何よ りも『笑い』のあふれる施 設を目指して・・。

編集者 林 横川